

うらやすのねぎこと (浦安の願言)

あめのおき、つちのおき、

あめのひれ、つちのひれ、

(ここまでさいしょの一回のみ唱えます)

あまつかみ、くにつかみ、まぼりたまへ、かまけたまへ、

きたなき、あかこごめどもを、ほぞちなす、ふりさきて、

はらひあらけて、うらやすくにの、うましきよと、

ならしめたまへ。

(いじょうなんかいなんじゅつかいとな
以上を何回でも何十回でも唱えます)

「まぼり」というのは「守り」の意味ですが、ここでは「まぼり」と発音し

ます。「こごめ」は魔の古語です。「ほぞちなすふりさきて」は古伝神言の一

節と伝えられています。「あらけ」はここでは退散させることを意味します。

唱える時と場所により、低音奉唱でもよろしいですが、同志が集合

して赤魔被禳・国土安穩・正気煥発を祈願する場合には、なるべく威勢よ

く、いづのおころびを起こして強大な声で号令して頂きたいと存じま

す。なお、赤魔というのはあらゆる魔・邪なものを指しています。